

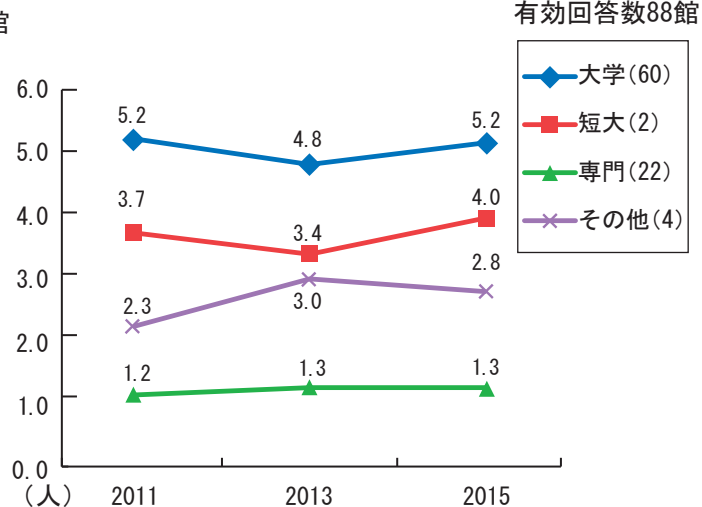
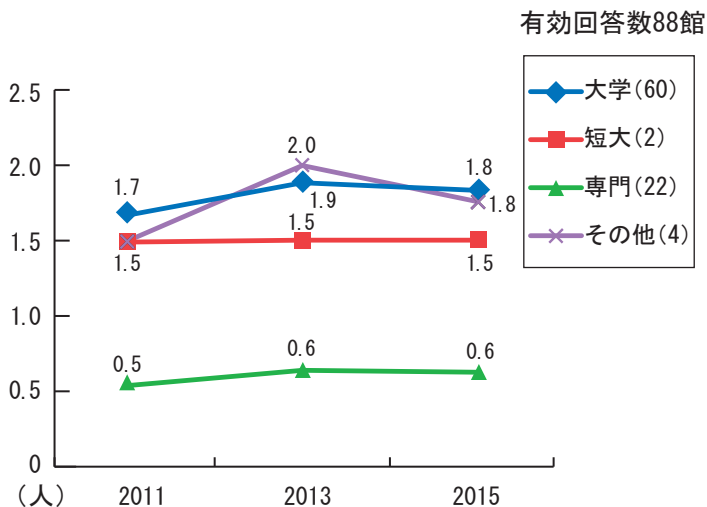
### \*\*\* グラフでみる実態調査 \*\*\*

#### \* 職員数の推移 \*

比較3年間加盟館を対象とする

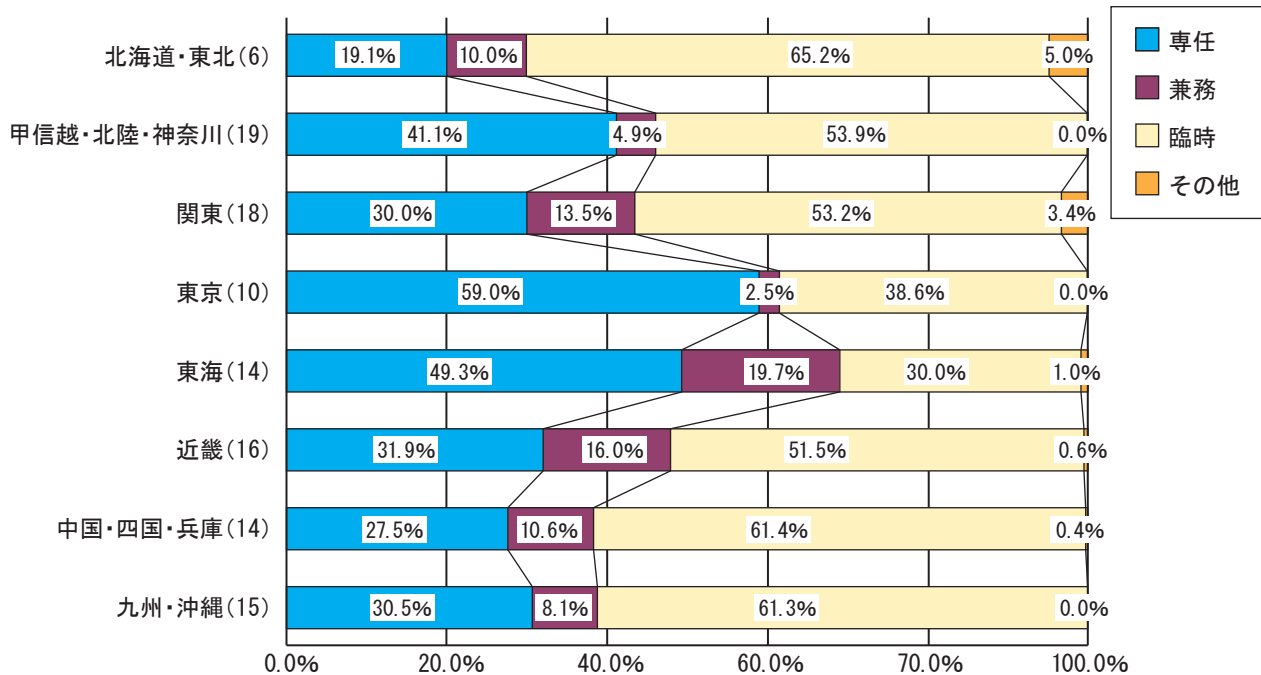
(正規職員・専任)

(全職員数)



#### \* 職員数の比較 ブロック別 \*

有効回答数112館



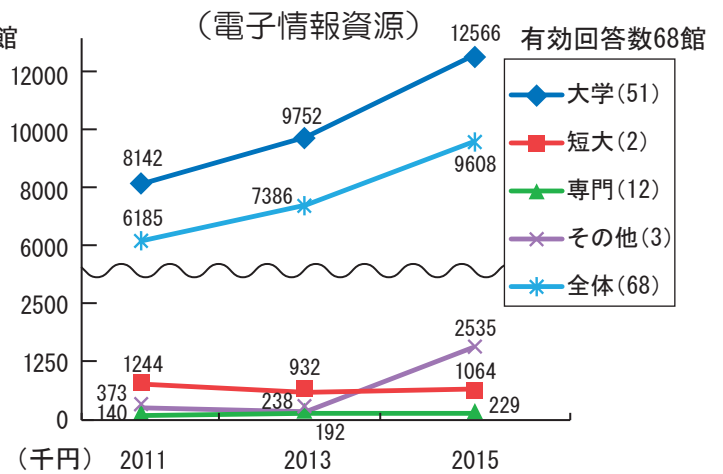
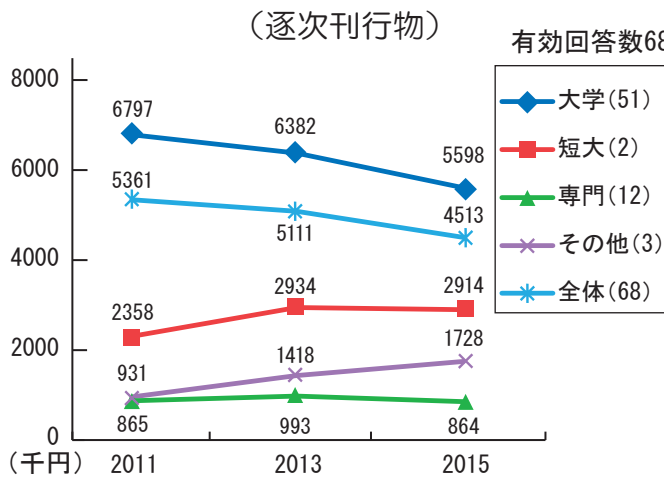
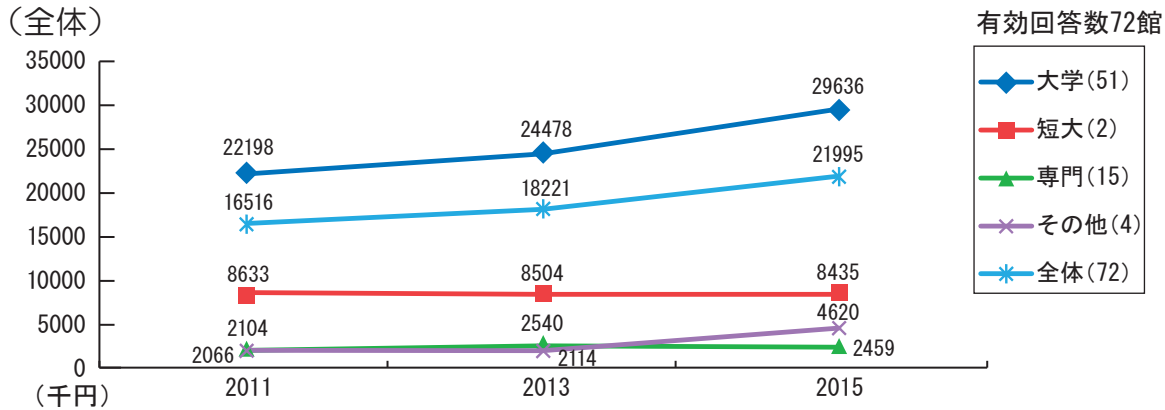
#### \* ラーニング commons の設置状況 \*

大学会員数	設置大学数	設置率	設置校の席数の規模							
			0~20席	~40席	~60席	~80席	~100席	~120席	~140席	無回答
70校	21校	30.0%	6	7	2	2	1	0	1	2

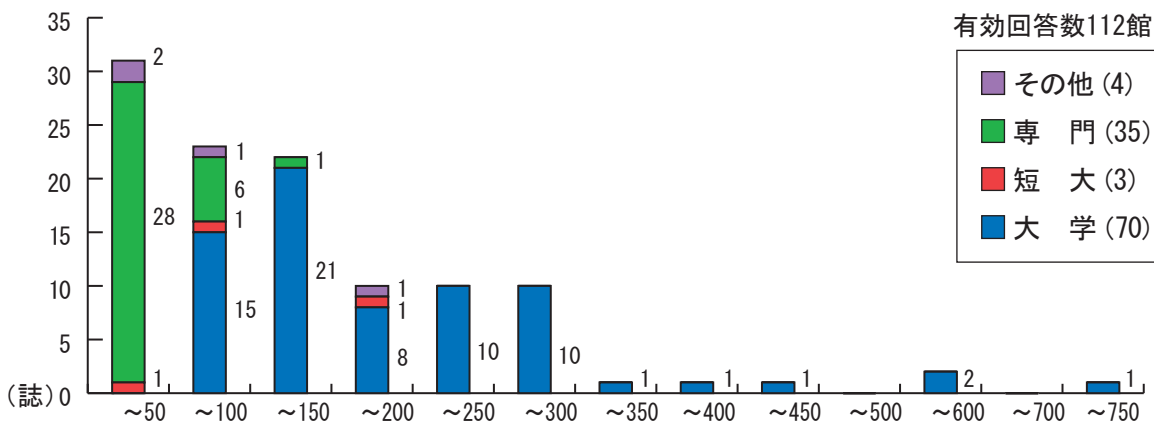
\* 「設置」との回答があったのは、大学のみであった。

＊年間資料購入費の推移＊

比較3年間加盟館を対象とし数値「0」の館を含む、「f」の館を除く



＊購入雑誌タイトル数＊



＊購入雑誌タイトル数平均値＊

年度	2009		2011		2013		2015	
	有効回答数	タイトル数	有効回答数	タイトル数	有効回答数	タイトル数	有効回答数	タイトル数
大学	74	411	76	241	78	210	70	185
短大	10	135	10	129	7	117	3	105
専門	34	124	34	48	36	42	35	41
その他	7	359	7	76	6	73	4	67

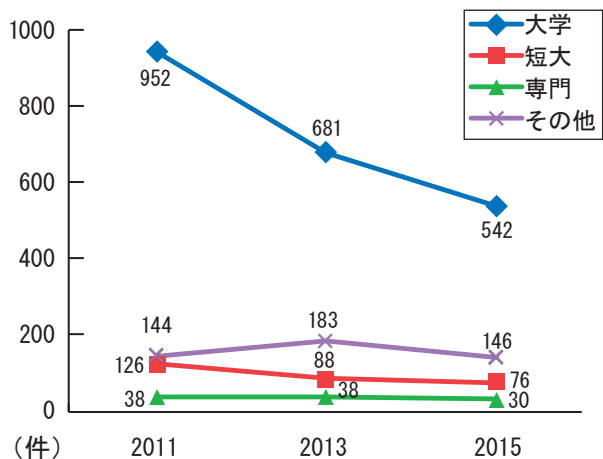
＊平均値は小数点以下四捨五入

＊全体の平均数は、大学185誌、短大105誌、専門学校41誌、その他67誌であった。

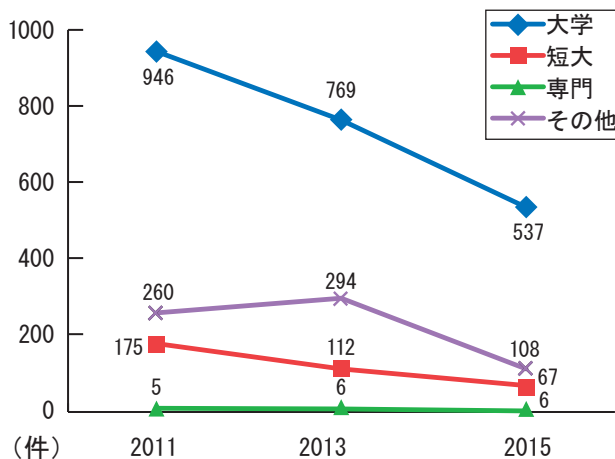
平均値をみると、大学と短大の平均タイトル数が大きく減っており、冊子体での雑誌購入が減ってきている。

＊相互貸借＊

＊複写依頼（平均）＊



＊複写受付（平均）＊

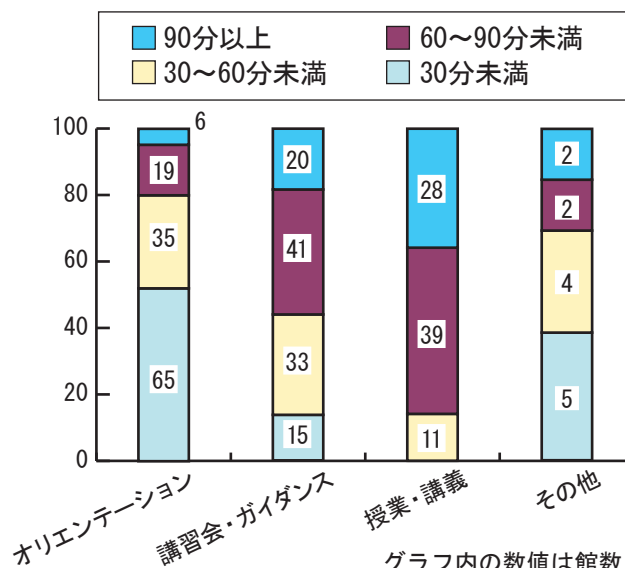
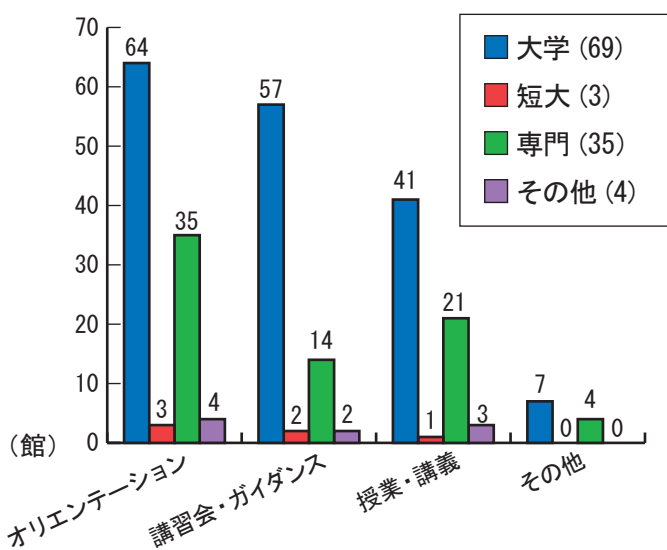


有効回答数

	大学	短大	専門	その他
2011年	76	10	27	7
2013年	78	7	28	6
2015年	70	3	29	4

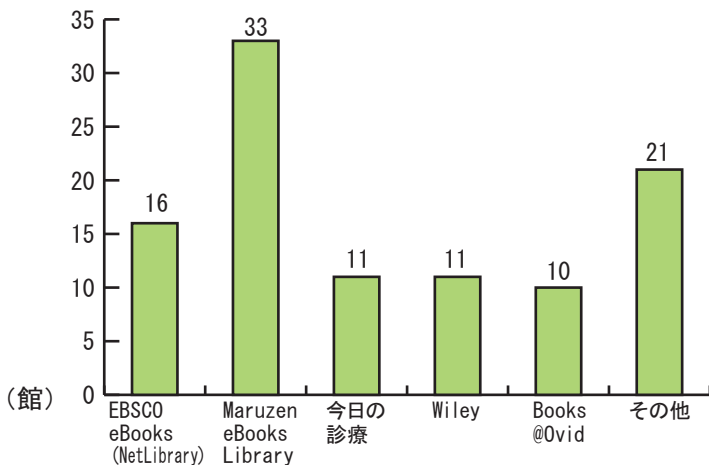
＊利用教育＊

有効回答数111館



＊電子ブック導入状況＊

有効回答数42館



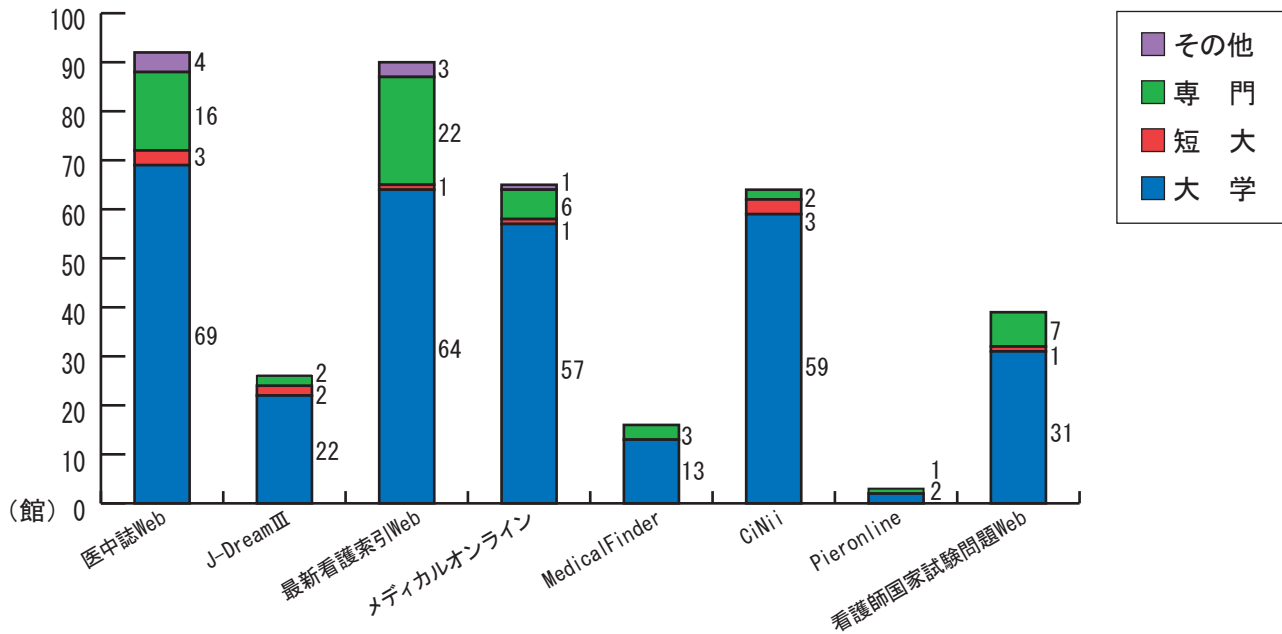
＊設問から導入館が10館以上の5種と、10館未満のもの合計を「その他」としてグラフにした。  
 Maruzen eBook Library (33館)、EBSCO eBooks (NetLibrary) (16館)の利用が多い。  
 グラフに含まれない自由回答のものは10種あり、すべて1館のみ導入しているものである。  
 ＊電子ブックの導入館は42館（大学38館、短大1館、専門2館、その他1館）であった。  
 ＊電子ブックを資産にしている導入館は22館であった。

＊電子ジャーナル・データベース導入状況＊

有効回答数105館

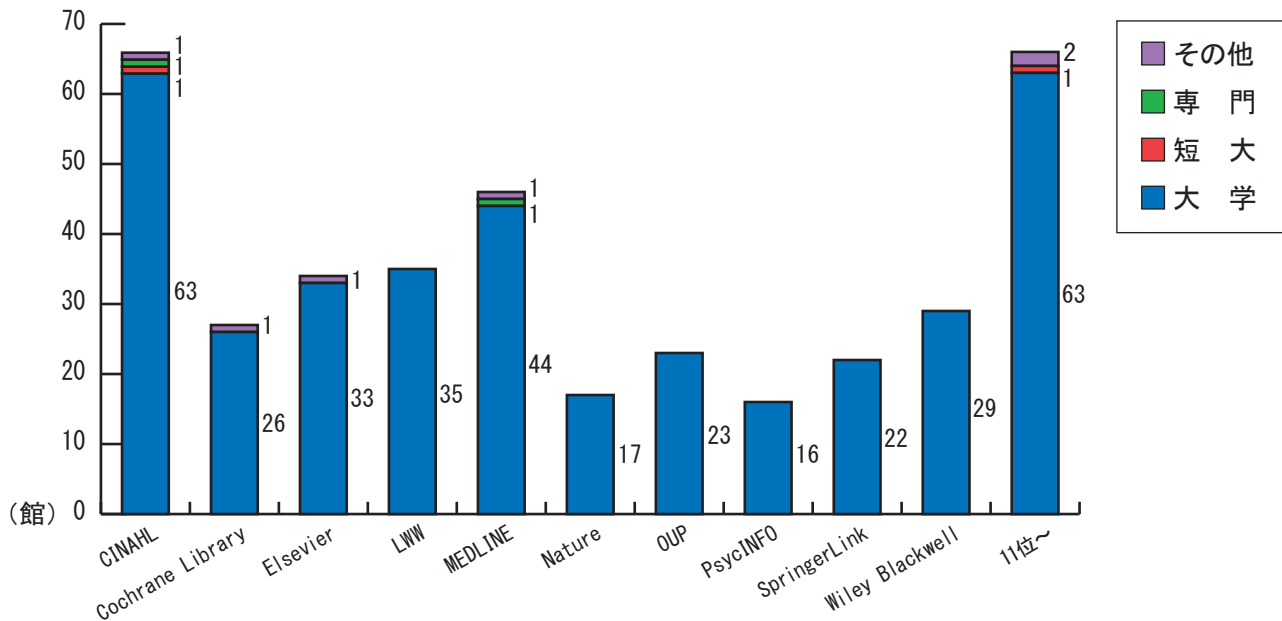
二次資料データベースは105館（大学68館 短大3館 専門30館 その他4館）が導入している。  
 電子ジャーナルは73館（大学64館 短大1館 専門7館 その他1館）が導入している。  
 いずれも館単独ではなく大学本部・本館の予算で導入しているものも含む。

（国内）



＊国内では、医中誌Web（92館）と最新看護索引Web（90館）の利用が多い。  
 ついでメディカルオンライン（65館）、CiNii（64館）の導入が多い。  
 グラフに含まれない自由回答のものは7種あり、うち2種は1館のみ導入しているものである。

（国外）



＊国外は総数が42種類と多いため、設問から導入数の上位10位と11位以下合計をグラフとした。  
 国外ではCINAHL（66館）、MEDLINE（46館）の導入が多いが、どちらも導入館は減少傾向にある。  
 11位以下のうち、設問にあるものの導入数はのべ66館であった。  
 グラフに含まれない自由回答のものは24種あり、うち16種は1館のみ導入しているものである。